

平成22年度 第6回 (9月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年9月9日(木) 午後6時30分～8時45分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、事務(岩崎)
- 欠席者 大垣、山中監事
- 議 長 今井

【討議内容】

I. 行動報告 (8月分)

- 8月7日 第34回献血推進活動
今井、清水、山西、荒木、田畑
- 8日 日臨技全国会長・代議員合同会議
今井、運天、竹浦、吉本
- 10日 学術部会
竹浦
- 12日 理事会
今井、運天、吉本、高田、大垣、清水、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事
- 13日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 15日 情報組織部会
井戸田、酒井、山西、杉山
- 15日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 16日 近臨技会長会議
今井
- 17日 渉外部会
今井、運天、竹浦、清水
- 18日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田、酒井、杉山
- 19日 情報組織部会
運天、竹浦、井戸田、酒井、山西、杉山
- 19日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 21日 日臨技認定一般検査技師制度試験WG委員会
今井
- 22日 日臨技認定一般検査技師制度試験WG委員会
今井
- 25日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、荒木
- 26日 堺市精度管理調査打合せ
田畑、酒井
- 30日 臨時情報組織部会
運天、竹浦、井戸田、酒井、杉山
- 31日 大阪府赤十字血液センター「まいどなんば献血ルーム」開所式
今井、清水

II. 経過報告

1. 日臨技

- 8月8日に全国会長・代議員合同会議が開催された。内容について医学検査および会報JAMTに掲載される予定。

2. 近臨技

- 8月16日に会長会議が開催され、近畿医学検査学会の在り方について相談した。
- 会長会議の結果、平成23年度から近畿臨床検査技師会・臨床検査医学会近畿支部・日衛協近畿支部の3団体学会の同時開催を行わないこととした。
- 上記学会同時開催の件について、9月18日(土) 14:00～大臨技事務所で3団体学会合同会議を開催し、詳細説明をする予定である。また、同日12:

00～会長会議を開催し、会費納入の変更に関わる打ち合わせを行う。

3. 事務局

- 〈総務部〉
8月18日に部会を開催した。
 - 大臨技会員名簿の作成について検討した。
 - 公益社団法人化への対応について検討した。
 - 日臨技新体制への対応について検討した。
 - 大臨技事務所用のマイク・スピーカシステム機種を設定し購入を決定した。
 - PC通信機器について検討した。
 - 大臨技ニュース8月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
- 〈会計部〉
8月18日に部会を開催した。
 - 7月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ7月分会費の送金を行った。
- 〈渉外部〉
8月17日に部会を開催した。
 - 第34回献血推進活動の反省を行った。献血受付91名、採血72名、ボランティア会員22名、賛助会員4名が参加した。
 - 第2回合同フォーラム委員会の準備を行った。委員会開催は9月1日に行う。
 - 乳がん検診推進活動について、細胞検査士会とともに討議を行った。朝日新聞、産経新聞にて広報する予定。
 - 手話講演会について討議を行った。

4. 事業局

- 〈情報組織部〉
8月19日部会を開催した。
 - アンケート調査の内容について検討した。
 - 技師長会について検討した。
開催予定日：平成23年2月19日(木)
 - 日臨技主催の総合管理部門研修について、8月30日に打ち合わせを行った。
- 〈地区事業部〉
8月19日に部会を開催した。
 - 会員交流会に関して
日時・場所：10月2日(土) 堺とれとれ市
参加費：1500円
内容：①乗船体験②バーベキュー(可能であれば、魚の解体ショーを行う)③ゲーム
 - 吹田健康展に関して
日時・場所：9月11日、12日 吹田メッセアター
- 〈学術部〉
8月10日に部会を開催した。
 - 日臨技ならびに大臨技の動向と今後について報告した。
 - 平成23年度事業計画について検討した。

III. 他、報告

1. 近臨技臨時会長会議について (今井会長)

近畿臨床検査技師会・臨床検査医学会近畿支部・日衛協近畿支部の3団体学会の同時開催を次年度から行わないこととした。

2. 日臨技施設認証への対応 (今井会長)

- 9月2日大臨技事務所にて、第1回大臨技精度保証施設認証委員会を立ち上げた。メンバーは、今井会長、竹浦副会長、山西理事、増田理事、松下記念病院の中島氏、大阪市立大学の石田氏とし、竹浦副会長を委員長とした。
- 日臨技精度保証施設認証制度指針から申請要領のパイロット認証・一般施設認証は、予定通り進めることとなった。申請書類は近日中に大臨技HPにアップする。

IV. 議題

1. 会費納入方法の変更に係る諸問題（吉本常務理事）

懸案事項と承認

1) 会員への広報について

- ①9月3日付の施設連絡者宛公文書を発送し、同日に大臨技HPに掲載をした。
- ②掲載内容は、平成23年度からの年会費納入方法変更・所属技師会選択可能のお知らせとした。
- ③大臨技ニュース10月号に「平成23年度からの年会費納入方法の変更について」（1～2ページ掲載）記事を掲載することとした。

2) 会員証については、大臨技会員専用の会員証を作成し発行することとした。

3) 年会費の徴収方法等について

- ①平成23年度以降は、日臨技と大臨技の会員・日臨技会員のみ・大臨技会員のみが選択が可能となる。
- ②平成23年度以降の年会費納入は、日臨技と大臨技は別納方式とする。
- ③日臨技は口座振替またはコンビニ振込、大臨技は専用の郵便振込票を作成し、郵便振込とする。
- ④大臨技会員の管理のため、大臨技独自の会員管理システムを導入する。
- ⑤領収書は、日臨技年会費分とは別に、大臨技より大臨技年会費分も発行する。

4) 大臨技年会費については、現在のところ継続年会費5,000円、新入会・再入会費4,500円、重複会員年会費5,000円だが、平成23年度から継続年会費5,000円、新入会・再入会費2,000円、重複会員年会費5,000円とする。

5) 送付物は、日臨技会員と大臨技会員は別扱いとなる。

6) 大臨技会員のみの場合の対応

- ①日臨技・近臨技学会に非会員として参加は出来るが、学会発表は出来ない。
- ②日臨技生涯教育制度は対象外となる。
- ③「臨床検査技師賠償責任保険」への無料加入は出来ない。このため、大臨技独自の有料での同等保険を検討中である。

7) 近臨技の対応について

- ①来年度から日臨技支部化となった場合、日臨技から活動費が入金されるため、大臨技として近臨技会費の徴収の必要性がなくなるが、従来の会費300円を、近臨技会員管理システム（後述）の運営費として使用したい。
- ②近臨技が協議会として存続するかは未定である。このことについては、近畿他府県の同意を得る必要がある。

8) リニューアルされた日臨技HPに、新制度移行に伴う案内とQ&Aが9月8日に掲載された。

2. 大臨技会員管理システムの構築について

（粟本理事・吉本常務理事）

- 粟本理事から会員管理のデータベース構築案と諸費用の説明があった。
- 吉本常務理事からの提案として、現JAMTISからデータを取り組み、新たな機能を組み込んだ会員管理システム（大臨技のみの単独システムおよびクラウドシステムとして近臨技全体で使用できるシステム）の説明があった。
- ①会員情報管理②施設情報管理③会員入金処理④役員管理⑤各種統計管理⑥データ出力⑦マスタ管理等と導入諸費用の説明をした。
- 双方の提案のうち吉本常務理事提案の近臨技全体で使用できるシステムを採用することとなった。このことについては、9月18日の近臨技会長会議に提案し、近

臨技で同意を得ることとした。また、当システムの初期導入費および維持費の各府県分担についても、近臨技会長会議で提案することとした。

3. その他

- 1) 大臨技組織運営規程の第21条の2を削除することが承認された。
- 2) 大臨技定款をHP上にアップする。